

# 職員基本条例で 職場・仕事はどう変わるの？



職員基本条例で職場や仕事はどう変わるのか——  
府民サービスにどんな影響があるのか——  
職場からは大きな不安と怒りの声が……

## 住民のために仕事がしたい

保健所

保健所は、府民の健康を守るという府民に密着した仕事をしています。保健師は、地域に出かけ、府民の声を聞き、生活実態をみるなかで、保健所として、いま何をしなければいけないか、みんなが話し合い仕事をしていきます。

## アメリカでは禁止、 税務職員の成績主義

府税事務所

私たちの仕事は、1人でできる仕事ではありません。チームで力を合わせ、たくさん職種の力を合わせて仕事をしています。

職員基本条例が成立すると、府民の生活や健康状態にもとづいて仕事をしようと思っても、上司に反対され、業務命令に従わなければ、分限処分の対象とされてしまいます。また、相対評価で5%の人が必ずD評価になるのでは、力を合わせる



2・21大阪労連・府労組連決起集会

## 個々の専門性いかし、 チームワークで力を発揮

障がい者施設

障がい者施設では、多職種の職員が連携して利用者に関わっています。それぞれがその専門性を生かし、チームワークの中で力を発揮するのですから、相対評

## 相対評価では育児・介護も マイナスになるのでは

本庁・女性

職員の仕事は、1人でできる仕事ではありません。チームで力を合わせ、たくさん職種の力を合わせて仕事をしています。

## 技術の伝承が住民の命を守る

土木事務所

ひとつの現場も主査、担当、副監督員がいて、それぞれ重要な役割をこなして、ようやく完成に近づけています。困難な現場で地元を十分に説得しても、なかなか進まない現場もある。業者指導でもいろいろな現場があり、完成したからダメという評価では、土木の出先現場は機能しません。そうならば、すべてが協力してやろうとはならないし、昨年の東日本大震災で職員を派遣しようにも「他の職場で対応して」となってしまうのではないのでしょうか。

## 府民にとってよりよいものが つくられるのか

建築職場

今回の条例が実施されることで、職員同士が疑心暗鬼になりギスギスした状態になるのではないかと心配です。今まで自分も先輩から教えられ、同僚とも「どういうものが府民にとって使いやすいか」など議論し、技術を磨きあい、後



「職員基本条例反対、働くルールつくろう」  
府職労宣伝行動

りよい支援のあり方を探っていくかねばなりません。そして、そこから学んだ教訓は、今後の支援に生かしていくようにしていくことが大切です。相対評価でチームワークが乱され、職場がバラバラにされたら、利用者さんへの支援が成り立たなくなってしまう。

上、職員の資質・能力の向上」ならば、絶対評価で十分その目的は達成できま

問題が起こるのではないかと考えてしまいます。民間では既に「ふさわしくない」という答えも出て

## 適正な業務が確保されなくなる

計量検定所

計量検定所では、取引・証明に使われる秤(はかり)やタクシメーターなどの検定・検査を行っています。また、正しく秤が使用されているかどうか、お肉やパック商品など、記載された内容量のとおり正しく計量されているか、ガソリンスタンドなどの計量器が検定の有効期限切れになっていないかなど、事業者への立入検査等チームで行っています。